

『モノをめぐる歴史のこれまでとこれから』



日時 2018年 **1月20日(土)** 14:00~17:00
早稲田大学戸山キャンパス 39号館5階 第五会議室

講演者 菅原 裕文 (金沢大学 准教授)
黒田 祐我 (神奈川大学 准教授)

中世のビザンツ美術史とスペイン史の分野の報告者が、それぞれの研究対象の領域で、歴史遺産がどのように資料として研究されてきたのかを事例を提示しつつ紹介、総合的に比較することで今後の学際的な共同研究の可能性を探る。

14:00	趣旨説明：甚野尚志 (早稲田大学 教授)
14:10	報告1： 菅原裕文 (金沢大学 准教授) 「カッパドキア研究の現在と展望」
15:00	休憩
15:10	報告2： 黒田祐我 (神奈川大学 准教授) 「中世と近現代との「対話」—アンダルス (イスラーム・スペイン) の遺したモノをめぐる議論のゆくえ—」
16:00	休憩
16:10	質疑と討論
17:00	閉会

主催・問合せ

共催 早稲田大学ヨーロッパ中世・ルネサンス研究所
(第24回研究会)



WIAS

早稲田大学高等研究所
Waseda Institute for Advanced Study

入場無料・事前申込不要 直接会場にお越しください。